

# 1年生学年便り

豊中市立第一中学校 74期生

NO.28 2019. 2. 13(水)

## キャリア教育プログラム

9日(金)にキャリア教育の一環として、NPO 法人 JAE から角野さんをお招きし、体験活動を行いました。

最初に旅の持ち物を、個人が持つ力にたとえ、「勉強や礼儀の大切さ」など、学校生活で得ていくものがいかに重要かをお話してくださいました。



その後、「勉強がしたくなるような文房具」をテーマに班で新商品を考えました。班で文房具を使う中での困りごとを出し合い、「あ～それわかる！」などの声がたくさん聞こえてきました。どの班もアイデアをひねり出そうと必死に考え、議論している様子が見られました。

## 今回のプログラムで学んだこと・印象に残ったこと(感想)

一人で考えるよりもチームのみんなで考えたときのほうが「ここはこうしたほうがいい」など言い合えるので良いと思いました。自分以外の人の考えが聞けてなるほどと思ったのもあったので、考えを聞くのも良いと思いました。

勉強は将来あまり意味がないと思っていましたが、ほとんどの教科が仕事には必要と知りました。

話し合いは最初スムーズにはいけませんでしたでしたが、だんだんどうすれば良いかを相手と考えていると、相手の考え方も「こういう考えもあるのか」となって考える幅が大きくなり、話もスムーズに進んでいきました。

私ははじめ、学校の勉強は「良い進路に進みたいからやる」と思っていたのですが、今は「将来のため」に変わりました。

私たちは今、将来のために勉強していることを改めて感じた。勉強は適当にしたら駄目だなと思った。

一人で考えて書いていた時よりも皆で考えた時のほうがたくさんの意見が出てきて、聞いていて面白かったです。自分の意見を出すことが大事だとよくわかりました。

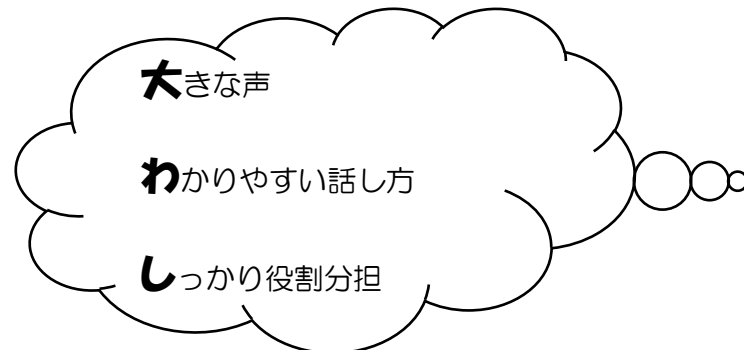
## 13日(水)5時間目…

各クラスに分かれ、班で考えた文房具の発表の準備をしました。原稿とポスター作りを行いました。先生がのぞき込むと「企業秘密なので…」と言って開発者になりきっている人もいましたね。発表本番が楽しみです。



後日各クラスでプレゼンを行い、クラスの代表を決めます。代表に選ばれた班は、実際に KOKUYO さんに向けてプレゼンを行い審査してもらいます。秀逸なアイデアがあれば一中学生の考えた文房具が商品化する…かもしれませんね。

最後に角野さんに教わった、プレゼンテーションのポイント



大れしを忘れずに！！